

## 鳥羽市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和5年度第1回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会
開催日時	令和5年5月30日(火) 10:00~12:20
開催場所	鳥羽市役所西庁舎 4階 大会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 新委員の紹介</li> <li>3. 活発で良い議論ができる会議のために(三重運輸支局様からのご案内)</li> <li>4. 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度 事業報告及び決算報告について(協議)</li> <li>(2) 令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について</li> <li>(3) 令和4年度 かもめバス利用状況について(報告)</li> <li>(4) 地域公共交通計画実施計画の進捗評価及び見直しについて(協議)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標・個別事業評価結果について</li> <li>・地域公共交通計画実施計画(令和5年度版)について</li> </ul> </li> <li>(5) 令和5年度 事業計画及び予算の書面決議結果について(報告)</li> <li>(6) 地域内フィーダー系統確保維持計画の提出について(協議)</li> <li>(7) かもめバスのダイヤ改正について(協議)</li> </ol> </li> <li>5. その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 鳥羽駅・佐田浜周辺地区における案内サイン改修の取組について(中間報告)</li> <li>(2) かもめバス路線再編に向けて</li> </ol> </li> </ol>
会議資料	<p>事項書・席次表・委員名簿</p> <p>【資料1】 令和4年度鳥羽市地域公共交通会議 事業・決算報告</p> <p>【資料2】 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果</p> <p>【資料3】 令和4年度かもめバス利用状況統計</p> <p>【資料4】 評価指標及び個別事業の評価結果</p> <p>【資料5】 公共交通計画実施計画(R5年度版)</p> <p>【資料6】 令和5年度事業計画及び予算の書面決議結果の報告について</p> <p>【資料7】 地域内フィーダー系統確保維持計画</p> <p>【資料8】 かもめバスダイヤ改正について</p> <p>【資料別冊】 鳥羽駅周辺サイン改修計画</p> <p>【別添資料】 市内交通のあり方検討</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	6人
出席委員	立花会長、加藤委員、水谷委員、川北委員、濱崎委員、中山委員、橋本委員、山下委員、前葉委員、松林委員代理 木下氏、谷端委員、山下委員、藤田委員代理 山本氏、今井委員、岩城委員、高浪委員、岡本委員、辻川委員
オブザーバー	なし
欠席委員	小崎委員、渡邊委員
事務局	企画財政課 斎藤、小崎、島田 定期船課 山本、西根、斎藤
1. あいさつ	<p>○事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・配布資料の確認</li> <li>・出欠報告</li> </ul> <p>○会長挨拶</p> <p>本日はご多忙の中、また足元の悪い中、各団体の皆様、また関係者の皆様にお集まりいただきまして、</p>

誠にありがとうございます。日頃の市政運営へのご協力に深く感謝申し上げます。さて、公共交通を取り巻く環境として、コロナの蔓延、人口減少、燃料費の高騰などのほか、オンライン技術や商品配送サービスが進んだことで、公共交通にとっては、非常に苦しい局面を迎えております。

地方における公共交通は、行政や地域が共に支え合いながら維持するという認識のもと、鳥羽市においても、鉄道を軸として、二次交通をどのように最適化していくか、利用者を選んでいただく交通を構築するかということが、大きな課題となっております。

少子高齢化・人口減少社会がさらに進んだ未来に向けて、交通ネットワークはどうあるべきかについて、お集りの皆様のご意見いただきながら、持続可能な方策を探っていきたくと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 新委員の紹介

事務局より新委員の紹介を行った。

## 3. 活発でいい議論ができる会議のために

### ○中部運輸局三重運輸支局

冊子「地域公共交通について活発で良い議論ができる会議のために」により、公共交通会議の目的、会議参加者と役割、地域に合ったより良い公共交通の実現について説明。

## 4. 議題

### (1)令和4年度 事業報告及び決算報告について

#### ○事務局説明

資料1により令和4年度鳥羽市地域公共交通会議の事業報告及び決算(案)を説明。

#### ○委員からの質問等

なし

#### ○採決

原案どおり承認。

### (2)令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

#### ○事務局説明

資料2により地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について報告

#### ○委員からの質問等

##### ・委員(運輸支局)

質問ではなくPRになるが、この評価制度について中部運輸局では令和5年3月に「定期的に評価をしましょう」という冊子を作成した。HPにて「公共交通ライブラリー」と検索すると冊子の他にも公共交通に関する報告書や事例集等を無料で見るできるので、時間のある時に見てほしい。

##### ・委員(民生委員)

運転免許の自主返納支援事業やハッピーチケット、定期船の乗り継ぎ等の恩恵を自身も受けたが、運転免許の自主返納について6ヶ月という期間が短いと感じた。1年程度に延長を検討していただけないか。

##### ・事務局

自主返納の件数が増えているということもあるため、1年間への延長を検討させていただきたい。ただし、支援の目的としては今まで公共交通を利用していなかった方に慣れていただくということであり、期間の延長については内部での検討が必要になるため、すぐにはお答えできない。

##### ・委員(学識経験者)

自主返納の期間設定は難しい。あるところでは永久無料という例もあるが、今まで乗っていなかった方や免許を持っている方からすればそれは不公平だと感じる。現在の6ヶ月という期間設定も本当にその期間で良いのかどうか、また、冬に利用したいが期間が過ぎ有料になった等の理由で踏み切れないというようなことがあれば1年間という期間設定もありかもしれない。また、免許返納をした結果として公共交通が一時的に割引・無料になるというのは免許返納する気になる誘因なのかどうか。期間設定はさじ加減を考えてやっていくべき。6ヶ月や1年間で実施して公共交通の利用が定着する

ならへビユーザーに利益があるものに移って行っていただきたい。

### (3)令和4年度 かもめバス利用状況について

#### ○事務局説明

資料3により、かもめバス利用状況を報告。

#### ○委員からの質問等

##### ・委員(運輸支局)

かもめバスの補助について。コロナ特例については不足で令和4年9月分までの救済措置として記載されているが、いま運行中の分については記載されていない。このままの要綱・要領でいくと、現在運行中のものについてコロナ特例がなくなり、交付申請をするわけだが場所によっては影響が出る可能性も考えられる。9月末まで数字の把握や利用促進を引続きお願いしたい。

##### ・委員(学識経験者)

まずは分析をきちんとするべきである。鳥羽市は観光客にかなり左右されるため、周遊券や1日乗車券等が重要となる。高齢者を中心とした地域の方にとってはハッピーチケットが重要になる。今回はどちらも上向きになり回復はしているが、十分ではない。コロナの影響で出歩かなくなり、動く気力がなくなったという人が全国的に増えている。そういったそれぞれの要素をもう少し分解して見せられると良い。また、安楽島や小浜やウスタリアンのような鳥羽駅をスルーしている路線については、各地区の乗降客数を見れば路線の数を見るだけでは分からない人口の増減が分かる。併せて、高齢者数の増減を見て「高齢者が増えているのに利用は減っている」ということが分かれば、その地区は重点的に乗り方教室等を実施するべきだと分かる。地区ごとの分析もかなり必要となる。乗らなくていけないから乗っているというような小学生等の数は控除した数字を出す必要がある。そういったところも考えて細かく分析していきたい。

##### ・委員(警察署)

免許返納について、増えているという印象。

### (4)地域公共交通計画実施計画の進捗評価及び見直しについて

#### ○事務局説明

資料4により、評価指標・個別事業評価結果を報告。

資料5により、地域公共交通計画実施計画(令和5年度版)を説明。

#### ○委員からの質問等

##### ・委員(市)

情報共有にはなるが、チェックシートP.11に「観光Maasの導入検討について協議を進める」とあり、それについては昨年度から伊勢志摩全体で協議を進めており、先々週くらいに観光Maas、伊勢志摩Maasの協議会・準備会が開かれている。近鉄沿線の市町が入った協議会を立ち上げていくというものの。地域の観光施設でキャッシュレス決済ができる等を目標に協議が進んでいる。また、秋ぐらいにはなるが、どこにどういったものがあるか、チケット・切符の予約・購入ができるというようなことから進んでいくと話が進んでいる。

##### ・会長

色々なところでデジタル化の話が出てきたが、利便性等を考えて進める方向で考えている。なかなか費用の面での障害もあり、特に定期船は構図的な面で難しいところがある。引き続き検討していく。

##### ・委員(学識経験者)

広島宮島では広島電鉄とJRが競合しており、その両方でJRのICカードが使用でき、現金で乗船する人はほとんど見られない。私自身、航路はよく利用するがキャッシュレスは普及しているため難しいとは思わない。広島ではICカードの更新が高いことが懸念されており、QRコードに変えていくという話がある。QRコードはICカードに比べて瞬時に読み取ってくれない等の不便さもあるためそれが本当に良いかは分からない。沖縄ではQRコードを使っているが反応に違和感がある。予算がつかないのは仕方ない。交通するからややこしいが、物販であれば良いという人もいると思う。Maasの話も出たが、それ自体が利用者に対して訴求することなのか、観光・交通事業者にどれくらいメリットがあるのか、また、それを利用できる人にとってどれくらい便利なのか、より観光に対する満足度が高まるのかというところが全く検証されていないように感じる。顧客目線の話で考えた時に改善点を

見出し、そのうえで Maas や IC カードでとれたデータを活用していく。鳥羽市はそこに全く至っていない。鳥羽市はデマンド交通がないが、その必要性も考えるべき。これから問題なのは、船やバスの担い手が少なくなっていくということ。旅館で出している送迎バスは今後も持続可能なのかといった点を考えていけば、相差で行った実験もやり方を考えれば意味があるものになる。デマンド交通が入ってくれば予約配信の部分が自動化できるので最適化につながる。顧客目線で考えてお客様に満足してもらい、生活交通でも移動を気兼ねなくできてストレスを感じないようにすること、担い手が足りなくなることに對してどう有効活用できるかを考えていくのがここ 2～3 年の課題だと思う。

○採決

原案どおり承認。

#### (5) 令和 5 年度 事業計画及び予算の書面決議結果について

○事務局説明

資料 6 により、令和 5 年度事業計画及び予算の書面決議結果を報告。

○委員からの質問等

・委員（学識経験者）

内容も特に変わらず作業量もそこまで多くないので、来年の今日消化できているように気を付けておいてもらいたい。

#### (6) 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）の提出について

○事務局説明

資料 7 により、地域内フィーダー系統確保維持計画の提出を説明。

○委員からの質問等

なし

○採決

原案どおり承認。

#### (7) かもめバスのダイヤ改正について

○事務局説明

資料 8 により、かもめバスのダイヤ改正を説明。

○委員からの質問等

・委員（学識経験者）

バスセンターではなく鳥羽駅に停めたほうが良い。そのバスだけ鳥羽駅停車にすると間違える人が出てくるといった注意点もある。現状として、いつも遅れてくる子がいるから待っているというようなことはないのか。

・委員（三重交通）

乗ったり乗らなかったりなので、なかなかそこまではやっていない。

・委員（学識経験者）

20 時台でいつも高校生がいるなら乗車位置で待っている等、臨機応変に対応したりするが、それがなかなか難しいのも理解している。

・会長

説明にあった「10 分遅らせる」というのは誰が考えたのか。

・事務局

10 分遅らせるというのはこちらで提案させていただいたもの。冬であれば外で 10 分待つのは寒いので鳥羽駅の中で待ってもらうこと等、検討していく。

○採決

原案どおり承認。

### 5. その他

#### (1) 鳥羽駅・佐田浜周辺地区における案内サイン改修の取組について

○事務局説明

資料別冊により、鳥羽駅・佐田浜周辺地区における案内サイン改修の取組を説明。

○委員からの質問等

・委員（学識経験者）

マリンターミナルまで何分というような目的地までの所要時間の表記が足りない。矢印だけではいつまで経っても着かない、近くにあると思ったら遠かったというようなことが起こり得るのでその点に注意してもらいたい。

**(2) かもめバス路線再編に向けて**

○事務局説明

別添資料により説明。

○委員からの質問等

・委員（運輸支局）

再編の実施はいつか決まっているのか。

・事務局

定期船の就航が来年度の6月いっぱいなので、それが順調に進めば夏あたり、少し遅ければ秋くらい。バスのダイヤ再編についても合わせていきたい。地域公共交通計画の見直しについて、これが反映できるかは協議の進み具合によって内容が変わってくる。

・会長

議事がないが、国崎・鳥羽間で麻生の浦大橋が工事を行う関係で路線が分断される。バスでしか移動できない方に迂回路線にはなるが臨時バスを無料で利用していただく。

・委員（学識経験者）

石鏡港線が影響を受けて、それが南側から回り込むということでもいいのか。

・事務局

今浦までは通常運行し、本浦から石鏡は迂回路として相差を經由し鳥羽駅方面に来るということになる。

・委員（学識経験者）

27日間無料で運行とのことだが、今年度のフィーダー計画の期間中のためフィーダーの額が変わるとともに評価も変わる。今年度の計画を変更しにいかないといけない。

・会長

土日の運行についてはどのようなになるのか。

・事務局

石鏡港線の土日の運行は通常どおり。平日についても金曜日の17時以降は通行できるため、通常どおり運行する。広報とばで特別便についてのお知らせは配布させていただいているが、市内全体にダイヤの公開はしていない状態。地元の生活者の足として運行することが目的で、観光客を対象としてイメージはしていない。

・委員（学識経験者）

イメージしていないとは言っても何も見なかったらあると思って来てしまう可能性がある。ホームページにも載っていないのにそんなことをしたら大変なことになるのでは。

・事務局

工事に関わることなので運輸支局の方へ相談しお認めいただいた。

・委員（学識経験者）

例えば大回路が狭いので小さい車しか使えないので生活交通だけであれば良いが、そうではない普通のバスが走るとなると理由があまり見られない。そもそも生活者とは誰なのか。

・事務局

バスの大きさについて最初は10人乗りのものを想定していた。三重交通様には朝の移動時間は一番小さいバスを運行してもらおうようお願いをしているところ。昼からはだいたい10人乗りの小さいバスを運行してもらおう。

・委員（学識経験者）

そういったときにホームページにどういう広告するかが大事。「空いてれば乗れるが空いていなければ乗れない場合もある」「地元の方優先」等の表記が必要。また、フィーダー上では365日運行すると

申請していて、こういった話があるならば本来は今日の会議で変更申請等について議題がないといけない。観光客も乗り得る路線なのにこういった扱いで良いのか。

- ・事務局

ダイヤについては広報やホームページに載せる方向で考える。計画の変更については、運輸支局に確認する。

## 6. 閉会